

「自粛期間中のこと」

三年

柏中学校

白取

依織

しらとり

いおり

三月二日、この日からコロナウイルスの影響で長期の休みになりました。最初は、休みと聞いて嬉しかったです。でも、一週間たつたころから束縛感を感じることが多くなりました。外出ができません、普段はしないマスクを付けなければならぬし、友達と遊べないし、会えないし、弟とつねに一緒に過ごして、ささいな事でけんかをして僕がしかられ、気ばらしにゲームをしていっているのに、親に「やせすぎだ！」と言われ、体を動かせとも言われ、「マイナスな事が多い気がしました。」

しかし、毎日過ごしている内に勉強の遅れに不安が強くなり、このままではだめだと気づきました。学校の課題の他に、自分なりに苦手な教科を復習すること、生活にメリハリをつけること、当たり前前のことだけが出来て

いない事に気づかされました。

そして、親と買い物に行つたとき、偶然友達と会えたことや、先生が家庭訪問に来てくださつたとき、顔を見てすごくホツとしました。いつも見慣れている顔も新鮮に感じました。

今回のコロナ自粛で学んだことは、家族が自分にとって大きな存在ということ。それは、県外で家族と離れ離れで会えない人や、コロナで突然命を断れた家族もいる中で、けんかをしたり、そばで会話ができることの幸せに気付くことができました。

一日でも早く終息して、みんなが笑顔で過ごせる日が来ますように。